

不確実な未来を切り開く

幸せってなんだるう

SIZE

00

WELL-BEING

多様化する価値観について考える

多様化する価値観が蔓延する現代社会において、経済的価値が社会を動かす大きな力になるとは言えない状況が訪れています。

このような社会状況下において、我々はどうなれば幸せと感じられるのでしょうか。

近年、WELL-BEING という言葉をよく目にするようになりましたが、おそらく幸せってなんだろうと感じる人が増えてきた結果なのではないかと感じています。

そこで、WELL-BEING な社会構築に繋がっていそうだと感じる実践事例や考え方につれて触れる機会を通じて、新たな社会を構築していく

価値観や方法について考える機会を設けたいと思います。不確実な未来を切り開いていくアントレプレナーシップのマインドを

WELL-BEING という視点から考えてみましょう。

ホスト：友渕貴之、宮崎義久、齊藤祐輔、中沢峻

第一回 11月7日（金）12:50-14:20

会場：宮城大学大和キャンパス 403 講義室

「キャリアの余白から考える私の生活」



《ゲスト》

キャリアブレイク研究所  
代表理事

北野 貴大 さん

二松学舎大学文学部在学中、(株)Gaiax にて「TABICA」立ち上げを経験。

大学中退後、当時最年少で(株)サイバーエージェントに入社。

AbemaTV の番組プロデューサーを担い Twitter 世界トレンド 1 位 3 回、チャンネル優秀賞獲得。

2019 年宮城県気仙沼に移住後、廃漁網アップサイクルに興味をもち事業検証を行う。

2023 年 5 月 amu(株) 設立。

第二回 12月4日（木）10:40-12:10

会場：宮城大学大和キャンパス 大講義室

「自然を通じて得る生きる力」



《ゲスト》

くりこま高原自然学校 代表  
青森大学総合経営学部 教授  
観光文化研究センター センター長

佐々木 豊志 さん

1957 年岩手県生まれ。

筑波大学体育専門学群卒業後、日本テレビサービスを経て、1996 年に「くりこま高原自然学校」を設立。  
自然体験や地域資源を活かした教育・観光・防災の実践に取り組む。

宮城大学大学院事業構想学研究科で修士号・博士号を取得し、同大学でも教育・研究に携わった。

現在は青森大学教授として、野外教育・冒險教育・環境教育・事業構想学をテーマに活動を続けている。

第三回 12月16日（火）16:10-17:40

会場：宮城大学大和キャンパス グループ演習室

「地域の健康を促す診断と処方」



《ゲスト》

総合診療医

守本 陽一 さん

医師。修士（芸術）。1993 年神奈川県生まれ、兵庫県養父市出身。自治医科大学在学中より、

医療者が屋台を引く「YATAI CAFE」や地域診断など、ケアとまちづくりの実践を行う。

公衆衛生医・総合診療医として勤務する傍ら、商店街の空き店舗を改修し「だいかい文庫」を運営。

地域共生や社会的処方の実践・支援に携わり、国交大臣表彰・グッドデザイン賞受賞。

共著に『ケアとまちづくり、ときどきアート』『社会的処方』。

第四回 12月18日（木）14:30-17:30

会場：宮城大学大和キャンパス グループ演習室

「利用と循環がもたらす地域の豊かさ」



《ゲスト》

amu 株式会社代表取締役 CEO

加藤 広大 さん

二松学舎大学文学部在学中、(株)Gaiax にて「TABICA」立ち上げを経験。

大学中退後、当時最年少で(株)サイバーエージェントに入社。

AbemaTV の番組プロデューサーを担い Twitter 世界トレンド 1 位 3 回、チャンネル優秀賞獲得。

2019 年宮城県気仙沼に移住後、廃漁網アップサイクルに興味をもち事業検証を行う。

2023 年 5 月 amu(株) 設立。



《ゲスト》

東北芸術工科大学

加藤 優一 さん

建築家。東北芸術工科大学専任講師、(株)銭湯ぐらし代表取締役、(一社)最上のくらし舎共同代表理事。

1987 年山形県生まれ。東北大學博士課程満期退学。建築の企画・設計・運営・研究を通じて、

デザインとマネジメントの融合を探求。銭湯と連携したシェアスペース「小杉湯となり」「銭湯つきアパート」や、

学生と進める「やまがた空き家プロジェクト」などを展開。

著書に『CREATIVE LOCAL』『公共 R 不動産のプロジェクトスタディ』『多拠点で働く』『銭湯から広げるまちづくり』。

お申し込みはこちら

学生・社会人問わず、どなたでもご参加いただけます  
右記 QR コードよりお申し込みください

